

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23110
事業名	外国語指導助手関係費					
評価担当課	所属名	教) 学校教育部 教職員課				
	課長名	大高 雅子	担当者名	上野 智恵美	電話番号	011-211-3802
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市立小・中・高等学校等に外国語指導助手を配置し、外国語の授業におけるより効果的な言語活動を児童・生徒に提供する。			
		長期	外国語教育における児童生徒のコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の一層の充実を図る。			
	取組内容	自治体国際化協会からあつ旋されるJET ALTと民間委託ALTを、本市の小・中・高等学校等に配置し、各学校の外国語の授業等において質の高い外国語指導助手との活動を提供するとともに、学校生活全般を通して、ネイティブ・スピーカーと交流することで、児童生徒の異文化への興味関心を高め、理解を深める。				
	実施結果	令和3年度は、民間委託のALTを3名増員し、総数126名のALTを市内小・中・高等学校等に配置する計画であったが、コロナ禍における国の入国制限により、新規来日ALTの入国が遅れ、一部の学校においてALTが配置できない時期が生じた。しかしながら、民間委託のALTを追加で契約し、配置方法を工夫することで全校配置を実施した。各学校において、言語活動についての説明・助言・講評、言語モデルの提示、児童・生徒との会話、母国の言語や文化についての情報提供等についてALTを活用し、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成に資することができた。				
事業実施における工夫点	外国語指導助手の配置方法を工夫し、コロナ禍においても全校配置を実施した。					
対象者	市立小・中・高等学校等			開始	昭和57年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	他都市においては、外国語指導助手の常駐配置や全ての英語の授業で活用している都市もある。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	475,269	538,000	475,925	602,000
うち特定財源	25,427	25,432	25,432	25,447
人工	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)	489,669	552,400	490,325	616,400
事業費の内訳	令和3年度決算	01-04 外国語指導助手報酬 88,605,134円 04-04 外国語指導助手共済費 14,252,971円 12-01 その他委託料 351,167,960円 13-02 借地借家料・継続的使用料賃貸料 10,265,447円 18-01 負担金 6,761,538円 その他 4,871,680円		
	令和4年度予算	01-04 外国語指導助手報酬 132,120,000円 04-04 外国語指導助手共済費 22,808,000円 12-01 その他委託料 393,756,000円 13-02 借地借家料・継続的使用料賃貸料 25,032,000円 18-01 負担金 11,892,000円 その他 16,392,000円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	外国語指導助手(ALT)数							
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定					
	120	126	122	129					
活動指標2	指標名								
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定					
成果指標1	指標名	外国の人と関わることが楽しいと思う子どもの割合							
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標					
				60%					
成果指標2	指標名								
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標					
項目	判定	理由							
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	コロナ禍における国の入国制限により、新規来日ALTの入国が遅れ、一部の学校においてALTが配置できない時期が生じた。しかしながら、民間委託のALTを追加で契約し、配置方法を工夫することで全校配置を実施した。各学校において、言語活動についての説明・助言・講評、言語モデルの提示、児童・生徒との会話、母国の言語や文化についての情報提供等についてALTを活用し、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の充実に資することができた。							
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本市の国際理解教育のより一層の充実のためには、今後、更なるALTの増員が期待されているところ。他都市では、ALTの常駐配置や全ての英語の授業で配置している都市もある。 神戸市:3、4年生:年間35コマ 5、6年生:年間70コマ さいたま市:1、2年生:年間17コマ、 3、4年生:年間35コマ 川崎市:1、2年生 年間5～10時間 3～6年生 年間35コマ 札幌市:3、4年生 年間平均8.5コマ 5、6年生 年間平均17.5コマ							
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	学習指導要領においては、外国語の授業において、ALT等のネイティブ・スピーカーを積極的に活用し、指導体制の充実を図ることが求められている。各学校において、発音指導、やり取り・発表のモデル提示、生徒のやり取りの相手、パフォーマンステストの補助等においてALTを活用し、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成に資することができた。							
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	各学校から、授業等においてALTを効果的に活用することで、言語活動の充実につながっている等の報告がされている。							
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映								
今後の改善点	なし。								
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
今年度取り組んだ見直し内容	ALTの増員(3名)		見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
評価の理由	本市の小・中・高等学校等にALTを配置し、外国語活動・外国語の授業等において質の高いALTとの活動を提供することで、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、異文化理解の充実に資するため。								
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 自治体国際化協会からあつ旋されるJET ALTと民間委託のALTを、本市の小・中・高等学校等に配置し、外国語の授業等において質の高いALTとの活動を提供するとともに、学校生活全般を通して、ネイティブ・スピーカーと交流することで、児童生徒の異文化への興味・関心を高め、理解を深める。							
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他							
		01-04 外国語指導助手報酬 122,510千円 04-04 外国語指導助手共済費 22,303千円 12-01 その他委託料 414,266千円 13-02 借地借家料・継続的使用料賃貸料 25,032千円	見直し効果額	0	千円				